

～佐野市が導入する「トイレトレーラー」について～

本年6月定例会にて「議案第58号 トイレトレーラーの取得について」が総務常任委員会にて審査が行われ、賛成多数で「原案通り可とすることに決定」となり(賛成4、反対1)、合わせて、定例会最終日の本会議で賛成多数で可決(賛成21、反対2)、導入が決定しました。

私は総務常任委員会の委員として質疑と反対討論を行い、合わせて、本会議では反対討論を行い、当該議案に対しての採決は反対の立場を取りました。

まず、私はトイレトレーラー自体の導入は否定していないことを明確にしておきたいと思います。常任委員会の質疑や事前配布の資料では、いわゆる

「平時の活用」は説明(答弁)がある一方、肝心の「災害時の活用」に関して具体的な説明(答弁)はありませんでした。

トイレトレーラーは来年1月末(令和8年)の納車予定ですが、納車までの間や納車後の一定期間で諸々を整備することはできると思います。しかしながら常任委員会での質疑では、運用方法や運用基準は「今後検討」、し尿処理の問題は「今のところ進めていない」、けん引免許の取得の方向性も見えてこないという状況でした。その時点では「導入ありき」とも思ってしまう状況で、「乗り越えなければならない課題が多すぎる」という印象を持ちました。取得金額2530万円(1台)という決して安いとは言えない議案について、この段階(6月定例会)での賛成・導入決定は、市民の皆さまに対して説明がつかないと判断しました。災害はいつ起こるか分からないと言われますが、それでも取得に対して多額の費用を要するため、他自治体の導入事例をしっかりと調査研究をし、満を持して取得する方が賢明であると反対討論で発言しました。

6月定例会時点でトイレトレーラーの取得を決定しなければならない明確な理由がないと判断したため反対をしたわけですが、市議会の総意として可決・導入が決定した以上は、より良い形にしていけるために担当課と必要に応じてコミュニケーションの場を設け、情報共有を図っています。皆さんはどう思いますか？



【富山県魚津市が導入したトイレトレーラー(右奥)とけん引車両(手前)】

～2年ぶりにパラオ共和国を訪問～



【左・ユナイテッド航空レセプションにてウィップス大統領夫妻と、右・旧日本海軍墓地での慰霊のようす】

10月29日～11月2日の日程でパラオ共和国を2年ぶりに訪問しました。今回はユナイテッド航空の成田-パラオ線定期直行便の初便を利用しました。

滞在中、旧日本海軍墓地での慰霊やユナイテッド航空成田-パラオ線新規就航レセプションへの参加(ウィップス大統領や関係者との懇談)、在パラオ日本国大使公邸での夕食会、アデルバイ在京パラオ大使やマツタロウ前在京パラオ大使との懇談を行いました。

私は、引き続き、皆さまのご理解とご協力をいただきながら、国内外問わず広く様々な国や地域とつながりを持ち、佐野市の子もたちの成長を力強くサポートできる仕組みの構築を目指していきたいと思います。

(※パラオ共和国は、大東亜戦争時、宇都宮の第14師団が派遣されていた経緯から、栃木県ともつながりの深い新日国です。)

～総務常任委員会の行政視察～



【左・富山県魚津市、右・長野県小諸市での行政視察のようす】

10月14日～10月16日の日程で総務常任委員会の行政視察として富山県魚津市、長野県小諸市、群馬県高崎市を訪問しました。

魚津市は「トイレトレーラー運用について」、小諸市は「移住定住促進を軸にした地域活性化に向けた連携に関する協定について」、高崎市は「トイレコンテナ(県立観音山ファミリーパーク内)」を視察しました。

魚津市の視察では、トイレトレーラーについて担当者より話を伺い、その後、実物を確認することができました。トイレトレーラーは本市でも導入が決定しており、課題や問題とその解決策などについて理解を深めました。

その後、深掘りしたいことがいくつもあったため、私単独で魚津市を再訪問し(11/11)、戻った後、本市担当課と情報を共有しました。

～YouTubeチャンネル「なるちゃんねる」～



佐野市が抱えている課題や問題、市議会で取り上げられている話題などを私の視点でお伝えしています(不定期)。

※InstagramとかXもやっています。
(アカウント名:nagahama_naru)

～ひと言～

・作ってみたいものがいくつ
・年次計画を載せています。
・ぜひご覧ください。
・乾燥しすぎています。
・火気の取り扱いには十分注
意します。

【HP・お問合せ】



【討議資料】④